

第 1 県立病院の概況

1 沿 革

広島県立病院は、昭和23年4月1日日本医療団の解散に伴いその所属であった次の県内医療施設を一括譲り受け、全病床171床で発足した。

日本医療団当時の病院名	病院名	病床数	所在地
広島中央病院	広島病院	111床	広島市宇品町37番地464の10
広島中央病院井口分院	井口病院	26	広島市草津南町字西原ヶ尻1973の1
矢賀病院	厚生病院	20	広島市矢賀町
呉片山病院	呉病院	—	呉市朝日町
安芸津病院	安芸津病院	14	賀茂郡安芸津町
瀬戸田病院	瀬戸田病院	—	豊田郡瀬戸田町
豊田診療所	豊田診療所	—	豊田郡豊田村
小島診療所	小島診療所	—	神石郡小島村

その後、昭和26年6月には山間へき地の地域医療にこたえるため小島診療所を小島病院にするとともに、当時増加傾向にあった結核対策として佐伯郡地御前村に設置されていた県立教員保養所に地御前病院を併設した。反面、地域的に偏在していた厚生病院を廃止した。

昭和28年3月には豊田診療所を豊田村外2ヶ村の国民健康保険組合に、昭和35年12月には性病関係の特殊病院であった呉病院を患者の激減、売春防止法の施行等により廃止し、呉市医師会にそれぞれ譲渡した。

昭和45年3月には、結核患者の減少に伴い井口病院を廃止するとともに、同年9月には、瀬戸田病院の結核病床23床を一般病棟に転床した。同年11月には、小島病院の全面改築に着手し、翌年10月以降、一般病床24床及び結核病床30床を廃止して一般病床40床とした。

昭和47年3月には、3年前から広島病院の分院となっていた地御前分院を廃止し、同年4月には、広島病院の第1次整備事業の完了により、救急病床50床及び精神科、神経科病床50床を増床して、515床に拡充するとともに、翌年11月をもって結核病床48床を一般病床に転床した。

昭和49年1月には、安芸津病院の全面改築が完了し、一般病床62床及び結核病床50床を廃止して一般病床100床とした。

昭和54年3月には、広島病院におけるがん、循環器、難病等の特殊診療部門を中心とした第2次整備が完了し、一般病床100床を増床した。

昭和55年8月には、瀬戸田病院の本館改築工事が完了し、9月以降一般病床を5床増床して一般病床50床とした。同年10月には、全面整備が完了した。

昭和60年2月には、小島病院の旧三和保健所部分の改修工事が完了し、3月以降一般病床10床を増床して50床とした。

昭和60年8月に広島病院の新中央棟が竣工し、61年3月に中央棟・外来棟等の改修工事が完了した。
(第3次整備事業)

昭和61年には、広島病院の一般病床を15床増床して630床（一般580床、精神50床）とした。

平成元年7月から小島病院の一般病床を30床増床して80床とした。

平成2年3月に小島病院の増改築工事が終了。4月から20床増床して100床とし、神石三和病院と改称した。

平成3年5月に安芸津病院の一般病床を30床増床して130床とした。同年7月には一般病床を20床増床して150床とした。

平成8年4月に広島病院の一般病床を125床増床して755床とし、同年5月に第三期工事（東棟・南棟・管理棟改修）が完了した。

平成12年3月に神石三和病院の療養型病床群転換工事が完了し、4月から一般病床47床、療養型病床群48床の計95床とした。

平成16年5月に広島病院の緩和ケア支援センター整備工事が完了し、9月から一般病床を10床増床して765床とした。

平成18年12月に広島病院の成育医療センター整備工事に着手した。

上記工事に伴う病棟改修により、平成19年7月から広島病院の一般病床を15床減床して750床とした。

平成20年4月から瀬戸田病院では、一般病床50床のうち30床を休床し、稼動病床20床とした。

平成21年2月に広島病院のNICU工事の完了に伴い、一般病床を29床減床して721床とした。

平成21年3月に広島病院の成育医療センターを開設した。

平成21年4月に、瀬戸田病院及び神石三和病院を地元市町に移管し、瀬戸田病院は尾道市立市民病院附属瀬戸田診療所となり、神石三和病院は神石高原町立病院として指定管理者により運営されている。

平成21年4月から地方公営企業法の全部適用へ移行した。

平成21年4月から広島病院では、一般病床21床を減床して700床とした。

平成21年4月から安芸津病院では、一般病床150床のうち50床を休床し、稼働病床100床とした。

平成22年9月から安芸津病院では、一般病床25床を広島県立障害者リハビリテーションセンターに移転して125床とし、休床25床、稼働病床100床とした。

平成29年4月から安芸津病院では、一般病床2床を減床、休床中25床を廃止し、稼働病床98床とした。

平成30年7月に、豪雨により安芸津病院施設が被災した（電気設備は平成30年12月に、厨房設備は平成31年2月に完全復旧）。

なお、病院別の病床等整備改廃の状況及び沿革は次のとおりである。

(1) 病床整備改廃の状況

年 度	広 島	安 芸 津	瀬 戸 田	神 三 石 和	地 御 前	井 口	厚 生	呉	豊 田	増 病 床 減 数	合 計
開設 (昭和23.4.1)	111	14				26	20				171
昭和23				15						15	186
24	(92) 203		24							116	302
25		(6) 20		(5) 20		(31) 57				42	344
26	(97) 300	(4) 24			72		6月 廃止			153	497
27	(13) 313				(42) 114	(25) 82			28年3月 廃止	80	577
28		(60) 84								60	637
29			(23) 47	(50) 70	(50) 164					123	760
30		(50) 134			(50) 214	(10) 92				110	870
34				(△ 16) 54	(△ 14) 200					△ 30	840
35	(45) 358		(△ 2) 45					12月 廃止		43	883
37	(57) 415	(△ 22) 112								35	918
44						45年3月 廃止				△ 92	826
46				(△ 14) 40	47年3月 廃止	9月撤去				△ 214	612
47	(100) 515									100	712
48		(△ 12) 100								△ 12	700
49					50年3月 撤去						700
54	(100) 615									100	800
55			(5) 50							5	805
59				(10) 50						10	815
61	(15) 630									15	830
平成元				(30) 80						30	860
2				(20) 100						20	880
3		(50) 150								50	930
8	(125) 755									125	1,055
12				(△ 5) 95						△ 5	1,050
16	(10) 765									10	1,060
19	(△ 15) 750									△ 15	1,045
20	(△ 29) 721									△ 29	1,016
21	(△ 21) 700		21年3月 地元移管	21年3月 地元移管						△ 166	850
22		(△ 25) 125								△ 25	825
29		(△ 27) 98								△ 27	798
令和7年3月末日 現在	700	98									798

注：() 内は、増減病床数

(2) 広島病院

年 月 日	沿 革
明治10年 5月25日	公立広島病院が公立医学校内（広島市水主町）に開設される。
明治11年 3月29日	広島県医学校が病院へ合併され、広島県病院附属医学校と改称される。
明治12年 1月21日	県立の「広島県病院」となる。
明治12年 4月 1日	病院建築竣工、開院する。広島県病院病室規則が制定される。
明治13年10月21日	病院分院が三次に開設される。
明治15年 7月	三次分院が閉鎖される。
明治16年 7月 6日	広島県病院附属医学校が広島医学校と改称される。
明治21年 3月31日	県立広島医学校が廃止される。
明治33年 1月15日	新築落成により移転。
大正10年 6月24日	「広島県病院」から「県立広島病院」に改称される。
昭和20年 2月13日	広島県立医学専門学校が設立認可される。
昭和20年 4月	県立医学専門学校設立に伴いその付属病院となる。
昭和20年 8月 6日	原子爆弾によって焼失。
昭和20年 8月 9日	古田小学校に臨時救護所を開設し救護活動をする。
昭和20年 9月	草津小学校に移動、救護所を開設する。
昭和21年 2月 1日	日本医療団草津病院と改称される。
昭和22年 6月 1日	日本医療団広島県中央病院が開院される。
昭和23年 4月 1日	日本医療団の解散によって日本医療団広島県中央病院の施設の移管を受け、県立広島病院として再発足。 診療科目は、内科、外科、小児科、産婦人科、皮膚泌尿器科、眼科、歯科、薬剤科の8科111床の総合病院として診療を開始。
昭和24年 5月 1日	研究検査科を設置。
昭和24年11月17日	病床92床を増設。 一般98床、結核105床、計203床。
昭和26年10月 1日	病床97床を増設。 一般150床、結核150床、計300床。
昭和28年 2月 4日	病床13床を増設。 一般163床、結核150床、計313床。
昭和28年10月 1日	理学診療科を設置。
昭和29年 4月 1日	総合病院の名称使用の承認を受ける。
昭和29年 8月10日	整形外科を設置。
昭和32年 3月31日	結核病床40床を一般病床に転床。 一般203床、結核110床、計313床。
昭和33年12月25日	全面改築工事に着手。 総事業費313,410千円、RC4F1棟、RC2F1棟、RC平屋建2棟、 建築面積4,604.10㎡、延建築面積10,801.84㎡。
昭和35年 4月 1日	全面改築工事のうち、第一期工事の完了に伴い従来の313床を廃止。 一般310床、結核48床、計358床。
昭和36年 3月12日	病院全面改築工事の竣工により落成式を挙げる。
昭和37年 6月11日	整備完了により一般病床57床を増設。 一般367床、結核48床、計415床。
昭和38年10月 1日	麻酔科を設置。
昭和40年 9月15日	看護婦宿舎を設置。 総事業費65,121千円、RC4F、建築面積576㎡、延建築面積2,220㎡。
昭和42年 7月27日	医師公舎（8戸分）設置。 総事業費17,012千円、RC4F、建築面積137.85㎡、延建築面積446.7㎡。
昭和43年 3月31日	医師公舎（16戸分）設置。 総事業費33,386千円、RC4F、建築面積336.73㎡、延建築面積1,188.18㎡。

年 月 日	沿 革
昭和43年 4月 1日	皮膚ひ尿器科を皮膚科、ひ尿器科に分科。
昭和44年 4月 1日	地御前病院を当院地御前分院とする。
昭和45年 3月27日	第1次整備工事に着手。 総事業費 1,059,956 千円、RC 1 B、7 F、延建築面積 10,786.67 m ² 。
昭和45年 4月 1日	脳神経外科及び放射線科を設置。
昭和46年 3月31日	臨床研修指定病院の指定。
昭和46年 9月 3日	第1次整備工事の落成式を挙る。
昭和47年 3月31日	地御前分院を廃止。
昭和47年 4月 1日	救急病床50床、精神・神経科病床50床増設、計515床（一般367床、結核48床、救急50床、精神50床）。精神科、神経科を設置。
昭和47年 7月31日	丹那医師公舎（16戸分）設置。 総事業費 65,357 千円、RC 4 F、延建築面積 1,360.84 m ² 。
昭和48年11月 1日	結核病床48床を一般病床に転床。 一般465床（救急50床）、精神50床、計515床。
昭和49年 1月31日	院内保育所設置。 総事業費 24,575 千円、RC 平屋建、延建築面積 211.54 m ² 。
昭和51年 3月31日	第2次整備に伴う地質調査 2,100 千円。
昭和52年 2月28日	第2次整備に伴う設計委託 42,100 千円。
昭和52年 7月 1日	第2次整備に伴う建設工事着手。 総事業費 2,113,655 千円、RC 1 B、3 F、延建築面積 7,041.3 m ² 。
昭和53年 3月31日	防火設備（非常照明等）改修工事。総事業費 48,748 千円。
昭和53年12月 4日	第2次整備の東棟の落成式を挙る。
昭和54年 4月 1日	第2次整備全面完成に伴い循環器病床50床、特定疾患病床50床増設。計615床。
昭和54年 9月19日	駐車場整備工事完了。総事業費 30,429 千円。
昭和54年10月15日	消防設備（スプリンクラー等）改修工事完了。総事業費 272,782 千円。
昭和55年 8月14日	東棟電気室・厨房冷房工事完了。総事業費 6,400 千円。
昭和55年12月24日	中央棟エレベーター改修工事完了。総事業費 4,000 千円。
昭和56年 2月 7日	薬品庫等新築工事完了。総事業費 11,168 千円。 器財庫等増改築工事完了。総事業費 9,226 千円。
昭和56年 6月30日	院内保育所施設整備工事完了。（収容人員 50 名に増員）総事業費 24,733 千円。
昭和56年11月14日	南病棟等冷暖房配管改修工事完了。総事業費 227,708 千円。
昭和57年12月25日	玄関ドア改修工事完了（自動ドア化）。総事業費 2,400 千円。
昭和57年12月25日	昇降機改修工事完了。総事業費 3,550 千円。
昭和58年 8月25日	公共下水道整備完了。総事業費 10,154 千円。
昭和59年 8月31日	第3次整備工事に着手。 管理棟整備、外来棟・中央棟・駐車場改修。
昭和60年 4月 1日	人工腎臓センター設置。
昭和60年 8月31日	管理棟竣工。RC 5 F、延建築面積 2,876.71 m ² 。
昭和60年11月 1日	夜間人工透析を開始。
昭和61年 3月28日	改修工事完了。（第3次整備工事完了。総事業費 1,062,969 千円。）
昭和61年 4月 1日	特定疾患病床15床増床。計630床。
昭和61年11月 1日	駐車場有料化。
昭和62年 1月20日	MR I 室及び冷凍冷蔵室工事完了。総事業費 53,598 千円。
昭和62年 7月23日	中央棟屋上防水工事完了。総事業費 16,300 千円。
昭和62年12月28日	基本構想策定に関する調査 5,000 千円。
昭和63年 3月17日	南棟浴室改修工事完了。総事業費 13,500 千円。
昭和63年 3月29日	臨床修練指定病院の指定。
昭和63年 5月10日	中国・四川省人民医院、成都中医学院附属医院と医学友好交流協定締結。
昭和63年 7月18日	外来棟屋上防水工事完了。総事業費 7,300 千円。

年 月 日	沿 革
昭和63年 9月19日	中央棟歯科改修工事完了。総事業費 11,000 千円。
昭和63年10月21日	看護婦宿舍改修工事完了。総事業費 18,300 千円。
平成 元年 2月10日	中央棟整備工事に伴う地質調査 9,300 千円。
平成 元年 3月10日	中央棟整備工事に伴う基本設計 75,000 千円。
平成 元年 3月31日	接続棟放射線診療室改修工事完了。総事業費 26,600 千円。
平成 元年 6月27日	中央棟整備工事に伴う実施設計着手。
平成 2年 3月17日	無停電電源装置設置工事完了。総事業費 90,232 千円。
平成 2年11月 2日	中央棟整備工事実施設計完了。総事業費 173,040 千円。
平成 3年 3月25日	仮設玄関棟建設工事完了。総事業費 550,793 千円。
平成 3年 4月24日	中央棟整備工事（第1期）着手。
平成 4年12月23日	中央棟整備工事（第2期）着手。
平成 5年 2月 9日	中央棟整備工事（第1期）完了。総事業費 7,014,907 千円。
平成 5年 2月26日	職員食堂改修工事完了。総事業費 54,545 千円。
平成 5年 3月31日	医療情報システム完成。総事業費 833,553 千円。
平成 7年 1月25日	中央棟整備工事（第3期）着手。
平成 7年 5月31日	中央棟整備工事（第2期）完了。総事業費 12,299,051 千円。
平成 7年 6月26日	広島県エイズ診療拠点病院の選定。
平成 7年 7月 1日	母子総合医療センター設置。
平成 7年12月 1日	看護婦宿舍（17戸）整備工事完了。総事業費 398,987 千円。（用地取得費を含む。）
平成 8年 4月 1日	救命救急センター、腎臓総合医療センター、健康推進センター、地域医療支援センター設置。人間ドック病床等125床増床。計755床。
平成 8年 5月29日	中央棟整備工事（第3期）完了。総事業費 5,810,312 千円。
平成 8年 7月 6日	中央棟整備工事の落成式を挙行。
平成 8年11月 1日	救命救急センターの選定。
平成 9年 2月14日	基幹災害医療センターの指定。
平成 9年 3月31日	医療従事者用宿舍土地（2,680.54 m ² ）を中国財務局から買収。1,400,000 千円。
平成 9年 4月25日	中国・四国ブロックエイズ拠点病院の指定。
平成11年 3月30日	総合周産期母子医療センターの指定。
平成11年12月21日	母子総合医療センター再編整備工事に着手。
平成12年 6月30日	母子総合医療センター再編整備工事完了。総事業費 172,372 千円。
平成12年 7月 7日	総合周産期母子医療センター運営開始。
平成14年 1月 4日	新医療情報システム稼動。
平成15年 1月29日	緩和ケア支援センター整備工事着手。
平成16年 4月16日	（財）日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定（Ver4.0）。
平成16年 5月31日	緩和ケア支援センター整備工事完了。総事業費 2,305,399 千円。
平成16年 9月 1日	緩和ケア支援センター運営開始。10床増床。計765床。
平成17年10月 1日	小児感覚器科開設。
平成18年 4月 1日	診療報酬包括支払制度（DPC）の導入。
平成18年 7月21日	臨床腫瘍科開設。
平成18年 8月24日	地域がん診療連携拠点病院の指定。
平成18年12月28日	成育医療センター整備工事着手。
平成19年 4月	成育医療センター整備工事一部完了（小児科）。15床減少。計750床。
平成19年 6月 1日	広島県エイズ治療中核拠点病院の認定。
平成19年 8月27日	地域医療支援病院の名称使用承認。
平成19年 9月18日	生殖医療科開設。
平成21年 1月 1日	電子カルテシステム稼動。
平成21年 1月19日	（財）日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新（Ver5.0）。
平成21年 2月18日	成育医療センター整備工事完了（産科、NICU）。9床減床。計721床。
平成21年 3月14日	成育医療センター開設。

年 月 日	沿 革
平成21年 4月 1日	21床減床。計700床。
平成21年 4月	地方公営企業法全部適用移行。
平成22年 3月	病棟（南病棟個室化等）改修工事完了。
平成22年 3月12日	医療従事者用公舎（65戸分）設置。 総事業費1,865,744千円（用地取得費を含む。）、RC6F、延建築面積2,653.90m ² 。
平成24年 9月 1日	地域医療連携ネットワークシステム（KBネット）の運用開始。
平成25年 3月	救急外来拡張工事完了。
平成25年 8月 1日	病棟（循環器内科、心臓血管・呼吸器外科）改修工事完了。
平成25年12月 3日	（公財）日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新（3rdG:ver.1.0）。
平成26年 4月 1日	脳心臓血管センター開設。
平成27年 4月 1日	腫瘍センター開設。 NICU3床増床（NICU計12床）。
平成28年 3月	東棟屋上非常用発電機設置工事完了。
平成29年 4月 1日	消化器センター・呼吸器センター開設。
平成30年 3月15日	検査関連部門（臨床研究検査科、輸血部）ISO15189認定取得。
平成30年 3月31日	緩和ケア支援センター閉所
平成30年 4月 1日	がんゲノム医療連携病院の指定。
平成30年 7月 2日	ドクターカー（ラピッドレスポンスタイプ）の運用開始。
令和 元年10月 4日	（公財）日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新（3rdG:ver.2.0）。
令和 3年 1月15日	感染症診察室建築工事完了。
令和 3年 3月31日	救急外来CT室増設。
令和 3年 9月	手術支援ロボット「ダヴィンチ・システム」の運用開始。
令和 4年 4月 1日	周術期管理センター開設。
令和 5年 3月28日	がんゲノム医療拠点病院の指定。
令和 5年12月 8日	（公財）日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新（3rdG:ver.3.0）。

(3) 安芸津病院

年 月 日	沿 革
昭和19年	三井造船付属病院として安芸津町所有の隔離病棟を借用、新たに病棟1棟を増築し診療を開始。
昭和20年 8月	終戦によって三井造船所閉鎖、建物、医療器具は安芸津町に移管。
昭和21年 5月	日本医療団が町所有施設を借用し診療開始。
昭和23年 4月 1日	日本医療団の解散によって施設の移管を受け、県立安芸津病院として診療科目内科、外科、産婦人科、歯科、耳鼻いんこう科の5科、病床数14床(一般病床のみ)で診療開始。
昭和25年 1月	一般病床6床を増床。計20床。
昭和25年 9月	病院本館(木造2階建、延建築面積 1,022.89 m ²)の新設により一般病床4床を増床、計24床。
昭和28年 6月	木造平家建、延建築面積 225.56 m ² の結核病棟を2棟新設により結核病床60床新設。一般24床、結核60床、計84床。小児科を新設。
昭和29年 2月	理学診療科を設置。
昭和31年 3月	木造2階建、延建築面積 543.67 m ² の結核病棟を新設することにより結核病床50床を増床。 一般24床、結核110床、計134床。
昭和34年 3月	結核病床6床を一般病床に転床。 一般30床、結核104床、計134床。
昭和37年 9月	結核患者の減少、一般患者の増加に伴い結核病棟平家2棟を一般病棟に変更。病床27床を廃止。 一般57床、結核50床、計107床。
昭和38年 3月 5日	竹原保健所管内伝染病院組合伝染病棟併設(病床数30床)。 個室(5室5床)を増設するとともに、建物の一部を改造し未熟児センターを設置。 一般62床、結核50床、計112床。
昭和39年 4月 1日	病院庁舎土地(3,446.15 m ²)を安芸津町から寄付受納。
昭和47年11月29日	全面改築工事に着手。総事業費 446,399 千円 本 館RC4F 延建築面積 4,250.02 m ² 。 看護婦宿舎RC2F 延建築面積 217.46 m ² 。 院長公舎CB2F 延建築面積 83.82 m ² 。 医師公舎RC3F 延建築面積 410.51 m ² 。
昭和49年 1月 1日	整備工事の完了に伴い、従来の112床を廃止し、一般病床100床となる。 (昭和49年1月14日診療開始。)
昭和49年 1月 1日	整形外科を設置。
昭和51年10月30日	防災設備改修工事完了。総事業費 3,084 千円。
昭和53年10月31日	病棟改築工事完了。総事業費 17,763 千円。
昭和55年 1月18日	病院増改築工事に着手。総事業費 40,446 千円。
昭和55年 5月31日	病院増改築工事完了。(救急外来整備)
昭和55年12月25日	医師公舎整備工事に着手。総事業費 37,976 千円。 RC3F、延建築面積 213,79 m ² 。(3戸分)
昭和56年 6月 6日	医師公舎整備工事完了。
昭和56年10月28日	玄関ドア改修工事完了(自動ドア化)。総事業費 5,500 千円。
昭和60年10月 7日	病院増改築工事に着手。(増築 172.7 m ² 、改修 212.42 m ²)
昭和61年 3月31日	病院増改築工事完了。総事業費 58,923 千円。
昭和63年 3月18日	病院整備に伴う土地鑑定調査 270 千円。
昭和63年 3月20日	病院整備に伴う基本設計 16,000 千円。
昭和63年 7月21日	病院整備に伴う地質調査 3,000 千円。
平成元年 2月28日	病院整備に伴う実施設計 45,000 千円。
平成元年 8月25日	病院増改築工事に着手。

年 月 日	沿 革
平成 2 年 3 月 2 7 日	医師公舎（4 戸）整備工事完了。総事業費 117,929 千円。（用地取得費を含む。）
平成 3 年 4 月 1 日	小児科、整形外科、眼科、放射線科の新設、歯科の廃止。
平成 3 年 5 月 1 日	病院増改築工事一部完了により病床数を 1 0 0 床から 1 3 0 床へ増床。
平成 3 年 7 月 1 2 日	病院増改築工事新棟完了により病床数を 1 3 0 床から 1 5 0 床へ増床。
平成 3 年 1 1 月 1 日	総合病院の承認。
平成 3 年 1 2 月 1 0 日	旧棟の改修工事及び外溝工事完了により、増築工事完了。総事業費 2,899,798 千円。
平成 4 年 3 月 2 5 日	看護婦宿舎（1 2 戸）整備工事完了。RC 4 F、延建築面積 396.80 m ² 。総事業費 194,313 千円。（用地取得費を含む。）
平成 1 3 年 1 1 月 1 日	産科の休診。
平成 1 4 年 4 月 1 日	皮膚科の新設、理学診療科からリハビリテーション科へ標榜科名変更。
平成 1 4 年 1 0 月 1 日	泌尿器科の新設。
平成 2 1 年 3 月 1 8 日	病院駐車場用地(997.08 m ²)購入。45,465 千円。
平成 2 1 年 4 月 1 日	一般病床 5 0 床を休床。（一般病床 1 5 0 床（うち休床 5 0 床、稼働病床 1 0 0 床））
	地域医療連携室業務開始。
平成 2 2 年 4 月 1 日	訪問看護業務開始。
平成 2 2 年 9 月 1 日	休床中の一般病床のうち 2 5 床を県立障害者リハビリテーションセンターに移転。（一般病床 1 2 5 床（うち休床 2 5 床、稼働病床 1 0 0 床））
平成 2 4 年 1 月 1 日	電子カルテシステム稼働。
平成 2 4 年 4 月 1 日	医療安全管理室の設置。
平成 2 5 年 4 月 1 日	内視鏡検査ステーション及び健康管理室開設。
平成 2 6 年 7 月 1 日	地域包括ケア病床 1 5 床稼働。（一般病床 8 5 床）
平成 2 6 年 1 1 月 1 日	地域包括ケア病床 2 1 床に増床。（一般病床 7 9 床）
平成 2 7 年 4 月 1 日	緩和ケア科の新設。
	看護科を看護部に改組。
平成 2 9 年 4 月 1 日	稼働病床を 2 床減床（一般病床を 1 0 床減床、地域包括ケア病床を 8 床増床）、休床中の 2 5 床を廃止。（稼働病床 9 8 床（うち一般病床 6 9 床、地域包括ケア病床 2 9 床））
平成 3 0 年 7 月 6 日、7 日	平成 3 0 年 7 月豪雨により病院施設が被災。 （電気設備は平成 3 0 年 1 2 月に、厨房設備は平成 3 1 年 2 月に完全復旧）
令和 3 年 4 月 1 日	緩和ケア科を緩和ケア外科に改称。
令和 5 年 3 月 2 7 日	電子カルテ(更新)新システム稼働。
令和 7 年 2 月 1 日	MRI 導入（オープン型）

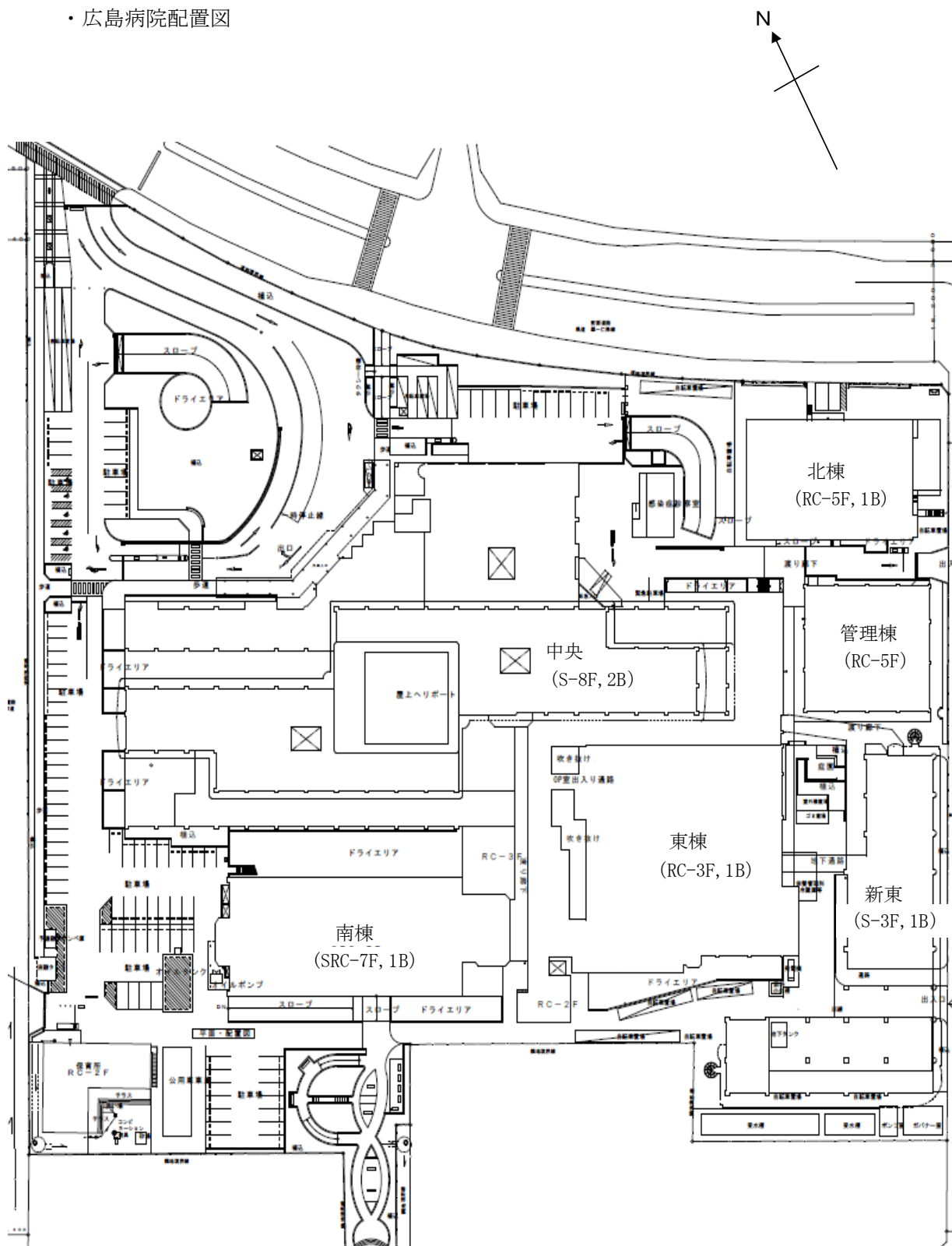
2 現 況

(1) 現 況 (令和7年3月31日現在)

区 分		広島病院	安芸津病院
所 在 地		〒734-8530 広島市南区宇品神田一丁目 5-54 (082)254-1818	〒739-2402 東広島市安芸津町三津 4388 (0846)45-0055
開設年月日		昭和23年4月1日	昭和23年4月1日
診 療 科		内科、精神科、神経科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科
病床数	一 般	650	98
	精 神	50	—
	計	700	98
入院基本料	一 般	○急性期一般入院料1 看護配置 7:1 急性期看護補助体制加算 25:1 看護職員夜間 12:1 配置加算1	○急性期一般入院料4 看護配置 10:1 急性期看護補助体制加算 25:1 看護職員夜間 16:1 配置加算2
	精 神	○精神病棟入院基本料 看護配置 13:1 看護補助加算2 50:1	—
救急医療体制		3次救急 (救命救急センター)	2次救急 (竹原地区病院群輪番制病院)
敷地面積(m ²)	病 院	25,325.30	5,880.48
	公 舎	3,172.81	2,359.15
	借上地	686.22	640.92
	普通財産	494.42	—
建物延面積(m ²)	病 院	鉄骨造 40,969.54	鉄筋コンクリート 11,560.20
		鉄筋コンクリート 24,568.03	耐火構造 39.25
	公 舎	3,291.26	1,792.82
	計	68,829.23	13,392.27
医師公舎(戸)		40	14
看護師等宿舎・公舎(戸)		42	12

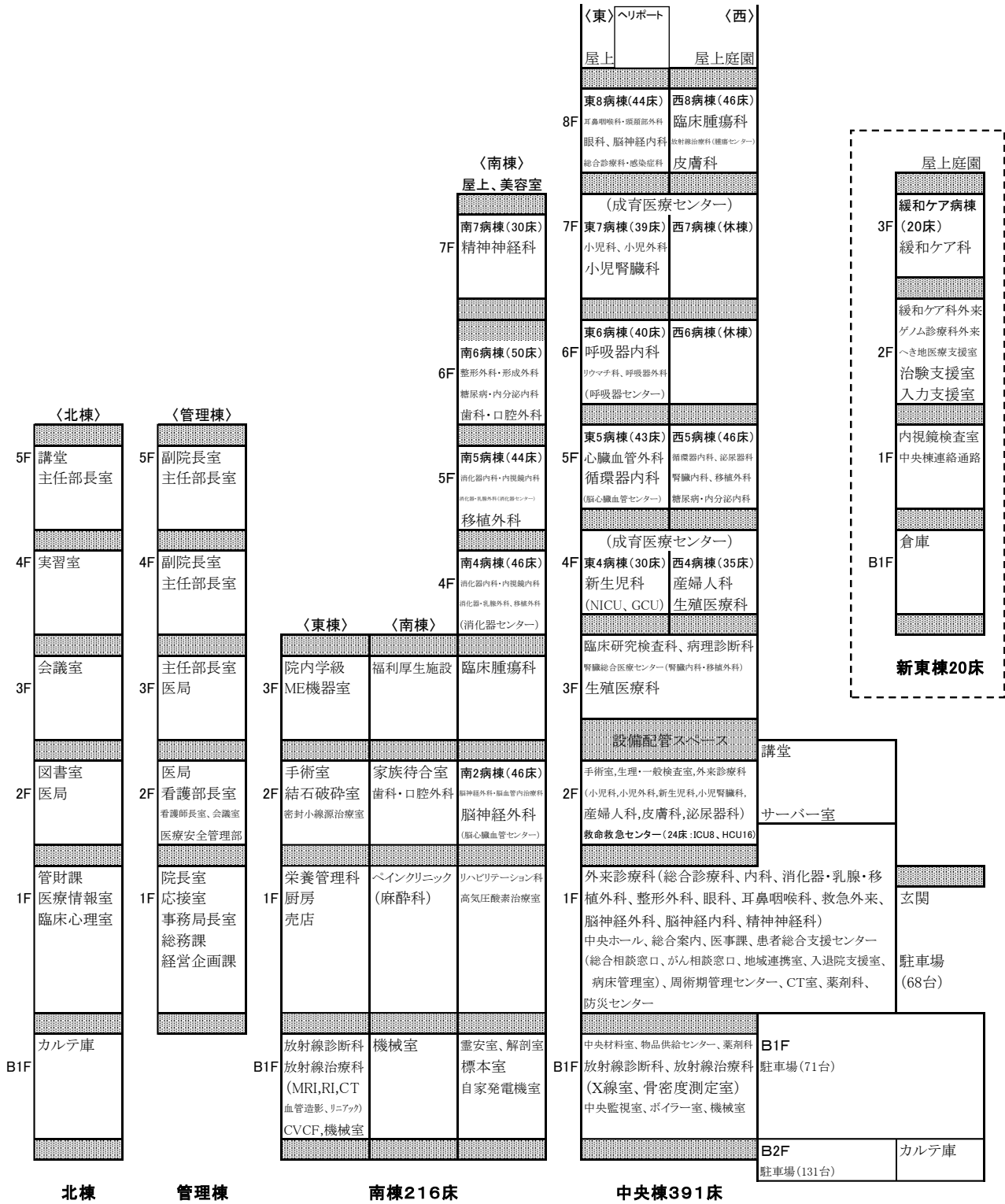
(2) 配置図 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

・ 広島病院配置図

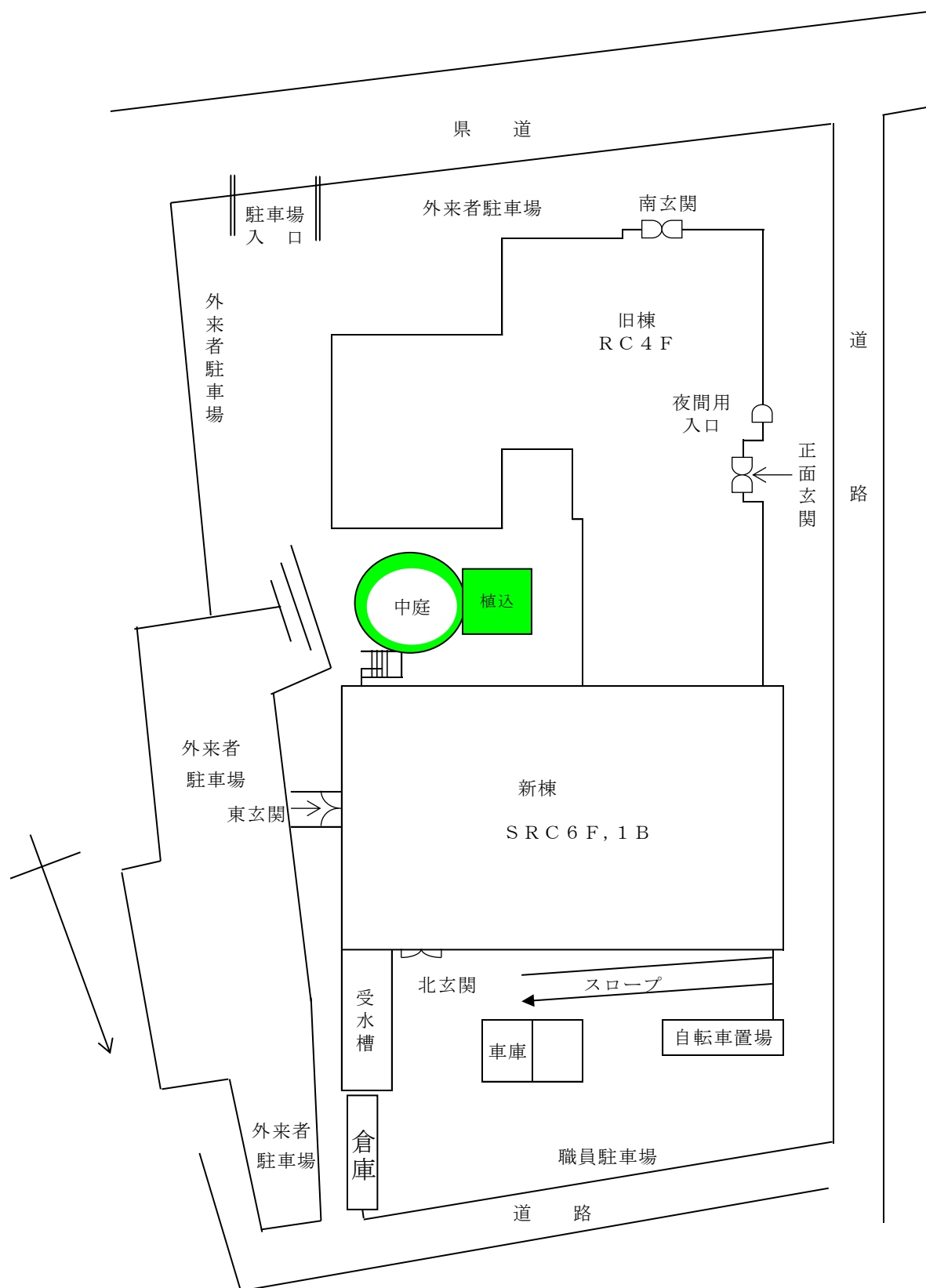


(令和7年3月31日現在)

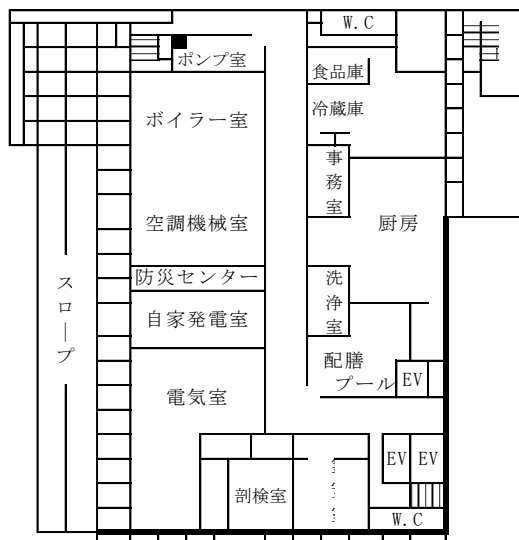
〈中央棟〉



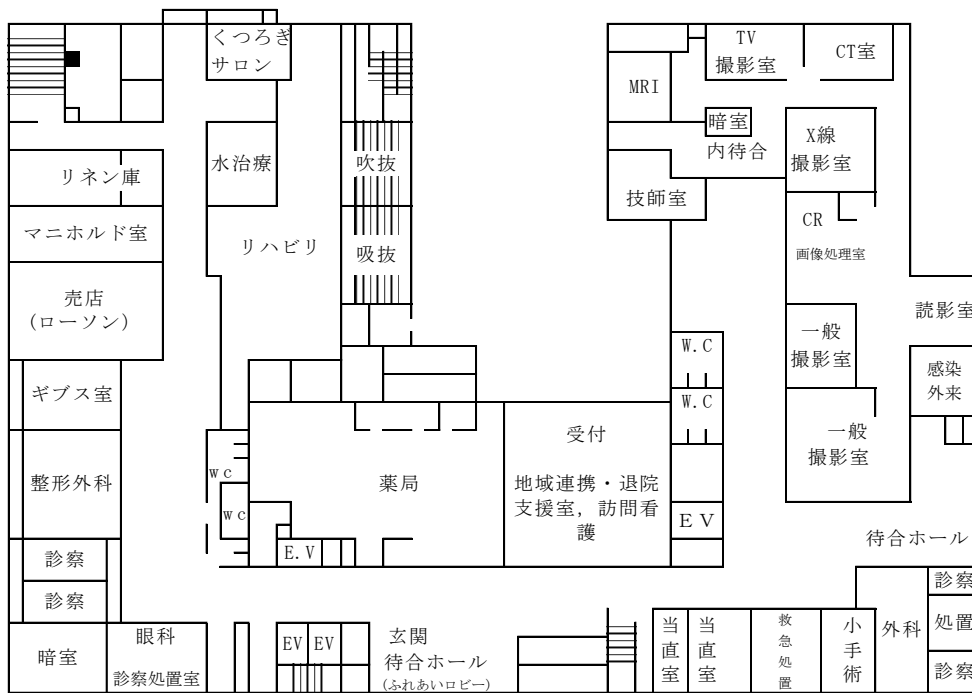
・安芸津病院配置図（令和7年3月31日）



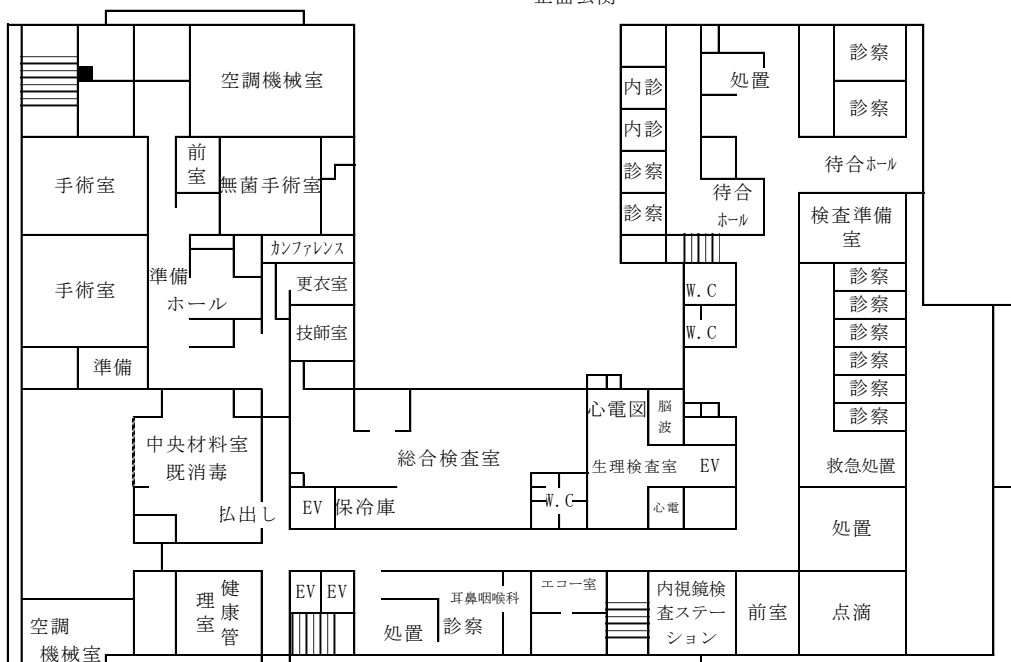
地下1階



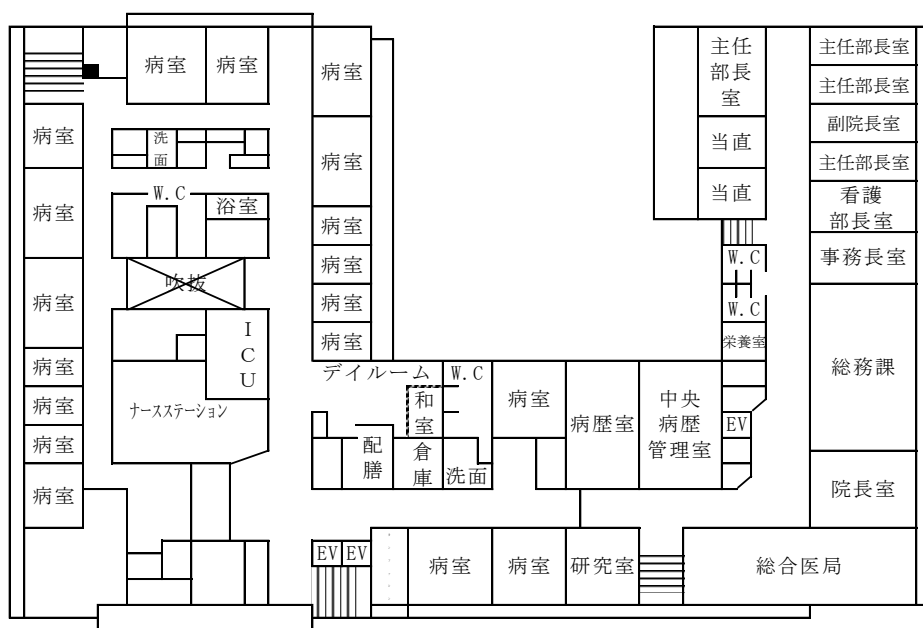
1階



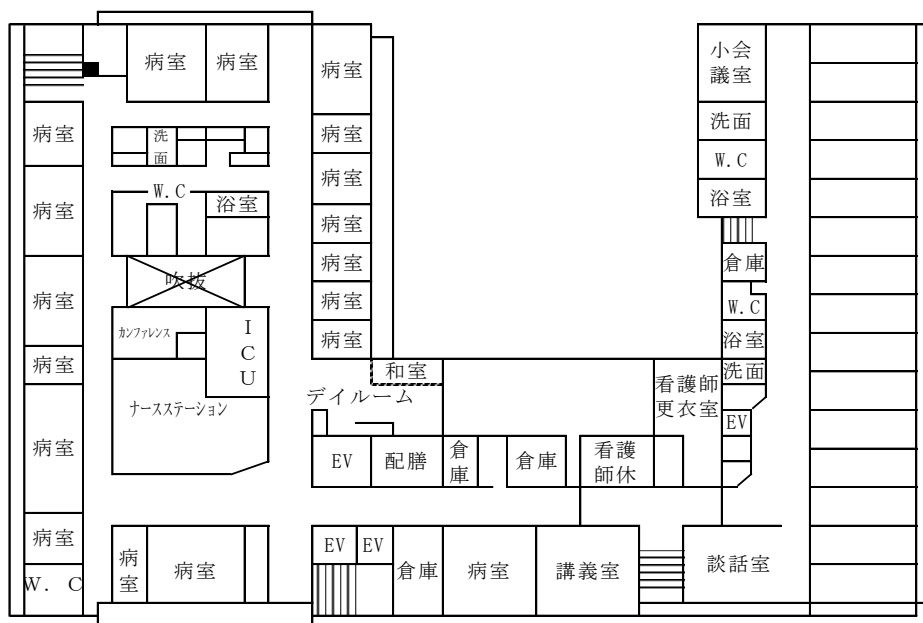
2階



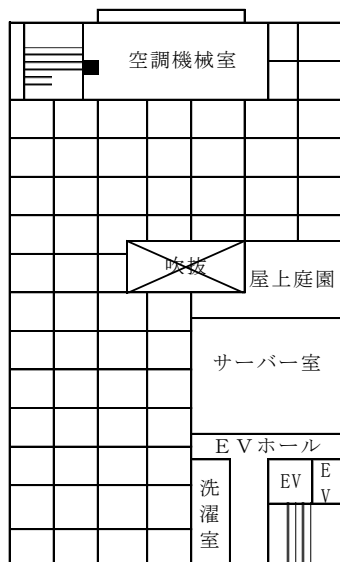
3
階



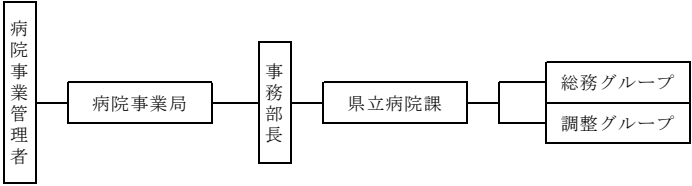
4
階



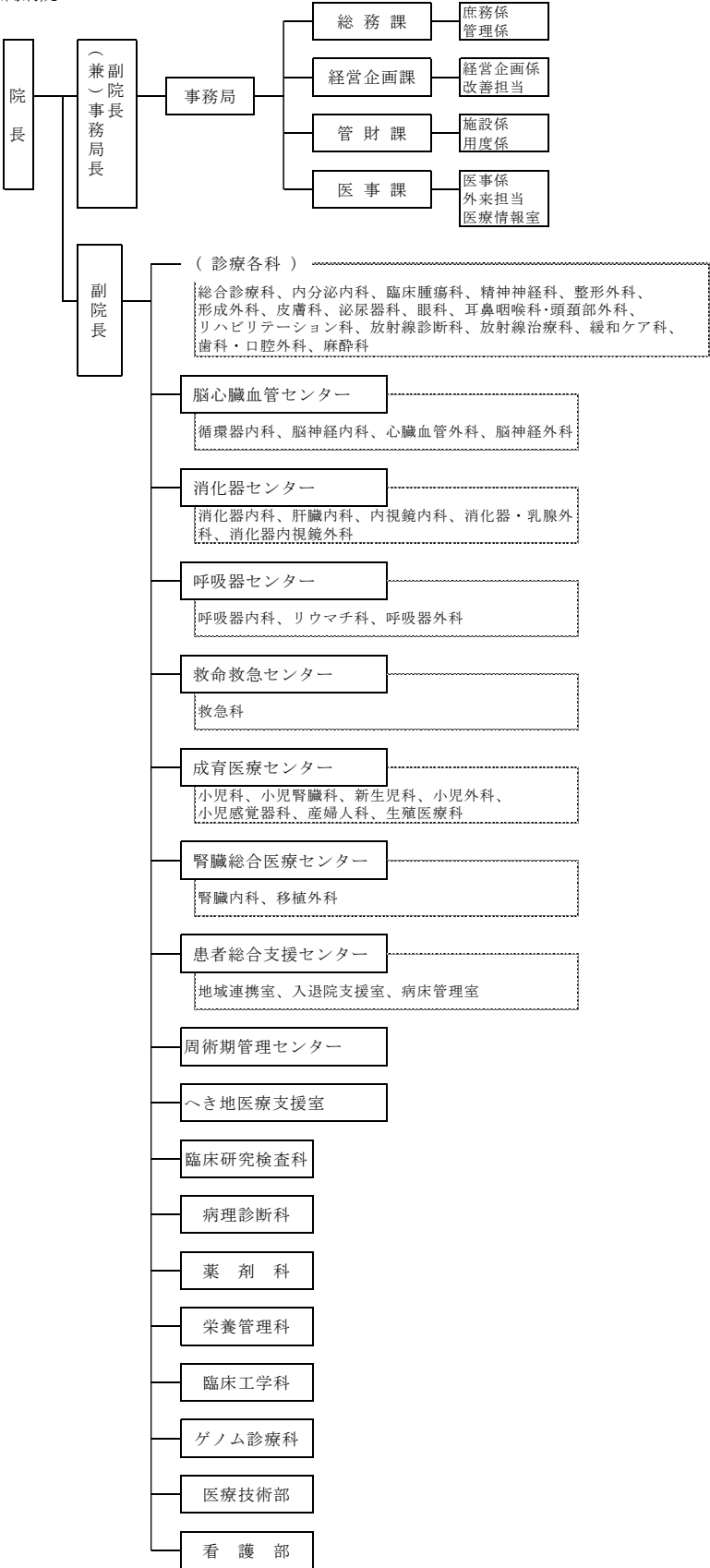
6階



3 組織機構（令和7年3月31日現在）
（1）本庁



（2）広島病院



(3) 安芸津病院

